

週間感染症情報

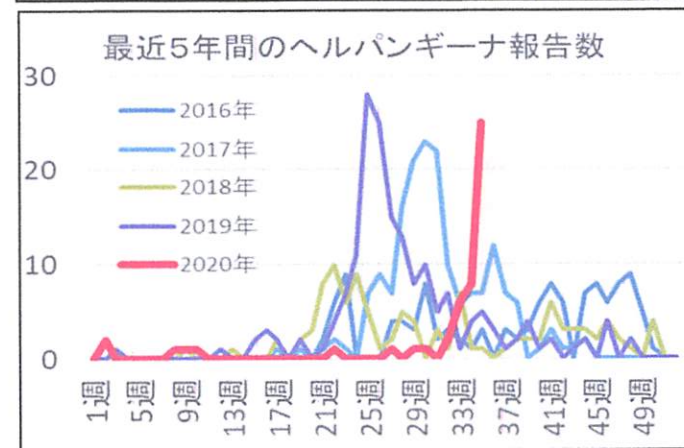
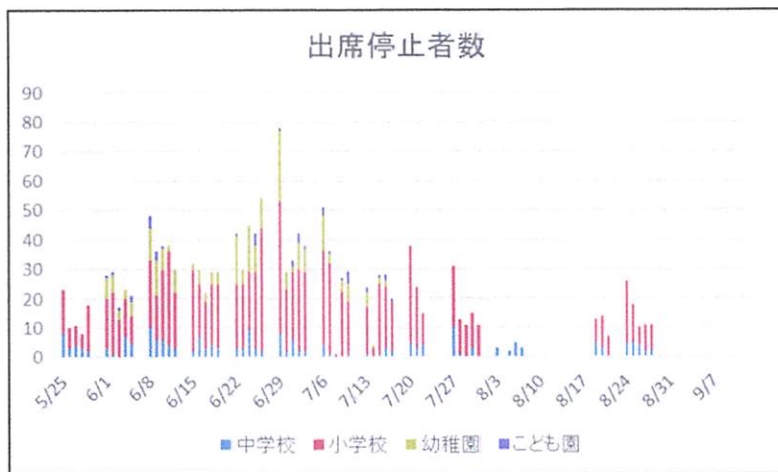
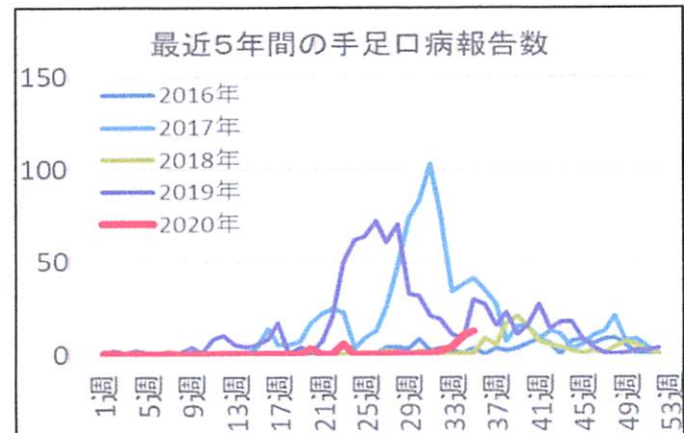
2020年34-35週 2020年8月17日より2020年8月27日まで

34週 35週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	4	3
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		1
溶連菌感染症	6	1
手足口病	10	13
ヘルパンギーナ	8	25
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	16	10
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	2	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	4	5
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	1	
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ(臨床診断含む)		
インフルエンザA		
インフルエンザB		

患者さんは少ないです。8月19日より小中学校の2学期が始まりました。教育委員会からの出席停止者報告数は左下のグラフの様に多くありません。発熱など感冒症状は少なく、頭痛・倦怠感・体調不良等、猛暑日が続いたため、熱中症を思わせる報告が多かったです。受診して、輸液を受ける症例も見受けられました。

水痘の報告は、市内の認定こども園、保育園、小学校等でした。ワクチン接種者が増えて大きな流行はなくなりました。手足口病、ヘルパンギーナなど、夏のウイルス性疾患が増えました。特にヘルパンギーナは、35週になり市内全域で急増しています。突然発熱し、嘔吐などを伴うこともあります。数日で解熱します。ウイルスは、便に数週間排泄されますので、感染予防のために長期に休ませる必要はありません。解熱して食事ができるようになれば、登園できます。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)